

令和4年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和5年2月9日（木） 午前10時00分～午前11時15分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（8名）

高 橋 潔（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

松 本 浩 二（総務部 契約監理課 課長補佐）

蒔 田 宏 之（総務部 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長）

三 浦 早 希（総務部 契約監理課 契約調達係）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（6名）

黒 川 浄 明（産業振興部 次長兼農林水産課 課長）

杉 本 高 康（産業振興部 農林水産課 課長補佐兼農業基盤整備係長）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長）

小 林 伸 行（都市整備部 土木課 建設係長）

二 木 健（都市整備部 桑名駅西整備事務所 所長）

野 澤 吉 広（都市整備部 桑名駅西整備事務所 計画・工務係 主査）

事 項

1 開 会

【事務局】

令和4年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席賜り、誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

皆様、あらためましてこんにちは、総務部長の高橋でございます。

本日はお忙しい中、入札監視委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

3回目ということで今年度最後の委員会となります。私が今年度の4月に総務部長を拝命してから、挨拶において、コロナウイルス感染症の話をしていますが、ようやく国の方で感染症法上の分類を2類から5類に変更することやマスク着用についても個人の判断に委ねるというような議論がされています。

世間では、経済活動、人出もコロナ前にも戻りつつあり、ようやく以前の生活に戻りつつあるのかなという気がしております。

ただ、単にコロナ前に戻るのというのではなくて、会議もリモートが当たり前の時代になったり、働き方も変わってきたり、世の中はかなりの速度で変革を続けております。

入札制度についても、その時々に応じて、逐次、制度の見直しや適正な監理に努めていかなければならないのかなというふうに感じています。

本日は5件の抽出案件について、ご審議の中で様々なご意見をいただき、私共も、これからも、公正・公平な入札制度を維持していくように心がけていきたいと思っております。

本日もご出席の皆様には忌憚のないご意見を聞かせていただいて、この委員会が有意義に進むことを願っておりますので、本日の議事の方もよろしく願いいたします。

簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の議事につきまして、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

赤木委員につきましては、所要のため欠席のご連絡をいただいておりますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

入札監視委員会ということで、入札の状況について審議させていただいていますが、最近では、五輪の談合問題についての新聞記事が掲載されておまして、問題事案というのは常々あるのかなと思っております。

先ほど総務部長もおっしゃっていましたが、5件抽出させていただいているわけですが、この委員会のあり方も、このままでいいのか、工夫した方がいいのではないか、というようなことも含めていろいろ審議していければいいなと感じております。

本日は皆さんお忙しい中、出席していただいておりますので、しっかり審議させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方はおみえになっておりません。また、途中で傍聴される方がおみえになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否について検討させていただきたいと思います。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは早速審議に入りたいと思います。

議事(1)「入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

事務局の松本です。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、(1)「入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和4年9月から令和4年12月の4か月の間に指名停止を講じました件数は4件です。

これらのうち本市が独自に指名停止を講じました1件につきまして説明させていただきます。

株式会社アイホー名古屋支店は、令和4年8月4日に契約締結した「給食用機器修理(城南小学校、大山田北小学校、星見ヶ丘小学校)」において、担当者の連携ミスや部品の調達遅延により、契約で定めた納期までに修繕を行うことができませんでした。

このことは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第5号の不正又は不誠実な行為に該当するとして1か月の指名停止措置を講じました。

残りの3件につきましては、三重県が講じました指名停止措置に合わせまして、桑名市でも同様の措置を講じたものでございます。

次に、談合情報の状況でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきますようお願いいたします。

続きまして、議事(2)「抽出事案の審議について」の項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして抽出案件5件について説明を得るため入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【 全委員了承 】

それでは、関係者の方々の出席を求めます。

【 関係者入室 】

審議にあたり、今回の5件の抽出理由について、私から説明いたします。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

桑名市6期地区ため池地質調査業務委託につきましては、コンサルタント業務の事後審査型条件付一般競争入札で、3者同額であること。

桑名駅西広場他整備工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと、応札業者の中で失格が多いこと。

橋梁長寿命化修繕工事（大山田第4号橋）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと、当初不落となり、再度入札において最低制限価格でくじ引きであること。

福地地内水路修繕工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、落札率が高いこと。

奥赤沢川河川改良工事につきましては、当初事後審査型条件付一般競争入札で執行したが、不調により、その後随意契約に変更したものであること。

以上の理由により抽出いたしました。

抽出事案 1 桑名市6期地区ため池地質調査業務委託

【委員長】

それでは、第1案件「桑名市6期地区ため池地質調査業務委託」について、発注担当課から委託概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【農林水産課】

農林水産課の黒川でございます。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。お手元の概要書に沿って説明させていただきます。

件名は、桑名市6期地区ため池地質調査業務委託でございます。履行場所は、桑名市多度町御衣野地内他でございます。

履行期間は、令和4年9月27日から令和5年1月31日まで、予算額は1,050万円、設計額は1,026万4,100円となります。

概要は、地質調査一式及び深淺測量一式で、対象ため池は、大谷ため池、ごんべいため池、及びけかつ谷ため池でございます。

概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の6ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、地質調査業者登録規程による登録業者であること、所在地要件は県内までとし、技術者要件として、主任技術者及び現場代理人の配置を求め、同種業務履行実績は、平成 19 年度以降、官公庁が発注した案件で、地質調査業務の履行実績を有することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、7 ページをご覧ください。

令和 4 年 9 月 14 日に開札を行いましたところ、4 者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格以内で 3 者が同額入札のため、くじ引きにより、全日本コンサルタント株式会社中部支店を落札候補者としました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者に決定し、税抜き 778 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等はございませんか。

【委員長】

土木工事とは異なると思いますが、このようなコンサルタント業務においても積算ソフトのようなものがあり、容易に最低制限価格を算出することは可能なのでしょうか。

【農林水産課】

今回の業務委託の積算につきましては、公共的な歩掛を使用しているということもあり、コンサルタント業務を受注している業者であれば積算ソフトを保有していると思いますので、その部分で精度の高い積算が可能となり、また、最低制限価格の算定式も公開していますことから、算出できたものと思われます。

【委員長】

このような業務についても、積算ソフトがあるので、予定価格が公表されていれば、そこから算出することができるということですね。

この度、案件を抽出するにあたりまして、この案件以外もそうですが、複数の業者が同額でくじ引きになるというケースが非常に多く見受けられまして、全体の 50%を超えています。

それぞれの業者が工夫して積算・算出した金額が同額となったため、その結果、くじを引いて落札候補者を決定するというのが趣旨であったと思うのですが、このように多数の業者が同額を算出できる状況で、談合防止には役立っているとは思いますが、公正な競争といえるのかと少し疑問に思います。

その辺についていろいろ考えていただきたいと思います。

【副委員長】

もう少し詳しく業務内容を教えてください。

【農林水産課】

今回、大きく分けまして、地質調査と深淺調査を委託しています。

地質調査につきましては、ため池に堤防があるのですが、その安全度の検証のためにボーリング調査を実施し、それにより採取しました土を試験にかけるといった内容です。

もう一方の深浅測量につきましては、日によっては水深が異なりますが、ボートに乗ってため池の深さ測量する。つまり土砂がどの程度蓄積されているかを測量するという内容です。

【副委員長】

最初のボーリングは、何箇所行いますか。

【農林水産課】

各ため池3本のサンプリングをとります。

【副委員長】

1本あたりの単価が決まっているということですか。

【農林水産課】

そうです。そのあたりが公共の歩掛ということになります。

【委員長】

他にご質問、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

それでは問題なしとします。

抽出事案 2 桑名駅西広場他整備工事

【委員長】

それでは、次に第2案件「桑名駅西広場他整備工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【桑名駅西整備事務所】

桑名駅西整備事務所の二木でございます。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。資料8ページの概要書をご覧ください。

件名は、桑名駅西広場他整備工事、履行場所は、桑名駅西地区で、9ページの位置図に示した右上の塗りつぶしの箇所でございます。

履行期間は、令和4年12月28日から令和5年3月30日まで、予算額は4億8,275万6,000円、設計額は、3億8,325万8,700円でございます。

工事の概要は、土工一式、地盤改良工3,210㎡、カルバート工47m、側溝工278m、縁石工386m、防護柵工153m、舗装工3,685㎡、区画線工一式、附属施設工一式、照明工一式、シェルター建設工事一式、撤去工一式、仮設工一式でございます。

概要の説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の10ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度の対象案件です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の特定許可業者であること、所在地は、市内までとし、経審点数は、730 点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 19 年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有することとしています。技術者要件としては、現場代理人及び監理技術者の専任配置を求め、その他要件として、低入札価格で契約を締結する場合、監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術担当者として 1 名追加配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、12 ページをご覧ください。

令和 4 年 9 月 21 日に開札を行いましたところ 6 者から応札があり、2 者が見積内訳等の検討に係る判断基準を満たさないため、失格となり、1 者は事後審査で入札参加資格要件を満たさなかったため失格となりました。

それらに次いで低い価格で応札した三光建設株式会社の入札価格は、調査基準価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、当該業者を落札候補者とししました。

入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 3 億 2,007 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【委員長】

入札経過表のところで失格の内容について説明していただき、1 者は事後審査で入札参加資格要件を満たさなかったから失格ということですが、具体的に説明していただけますでしょうか。

【事務局】

入札参加資格要件には、建設業許可、地域要件、経営事項審査の総合評定値、完成工事高、技術者要件等があります。それらを審査した結果、入札参加資格要件を満たさなかったため失格となりました。

【委員長】

落札候補になってから審査するということですね。

残りの 2 者が失格となった見積内訳書等の検討に係る判断基準というはどういうものか説明してください。

【事務局】

本案件は、低入札価格調査制度対象案件でございまして、要綱において、調査基準価格、対象外の案件においては最低制限価格ですが、を下回りましても、失格基準価格以上であれば直ちに失格とはせずに見積内訳書の各費目の要件を全て満たしているかを判断することとなっています。

資料の 11 ページにあります率を乗じた結果、その要件を満たさなかったため失格となりました。

【小寺委員】

低入札価格調査制度を対象とする工事はどのようなものか教えてください。

【事務局】

低入札価格調査実施要綱において、対象工事は、総合評価落札方式により競争入札する建設工事、設計金額1億円以上の建設工事及び設計金額1億円未満の建設工事であっても制度の適用が必要と認められるものとしており、ある程度高額な工事であれば、この制度の適用が有効であるということで規定しています。

【委員長】

他にご質問、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

それでは問題なしとします。

抽出事案 3 橋梁長寿命化修繕工事(大山田第4号橋)

【委員長】

それでは次に第3案件「橋梁長寿命化修繕工事（大山田第4号橋）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

土木課の小林でございます。よろしくお願いいたします。

資料13ページの概要書をご覧ください。

件名は、橋梁長寿命化修繕工事（大山田第4号橋）、履行場所は、桑名市藤が丘6丁目地内他、位置図は14ページでございます。対象箇所は、東名阪自動車道の桑名インターチェンジより北に位置する藤が丘地内でございます。この橋梁は高速道路を跨ぐものでございます。

概要書に戻りまして、履行期間は、令和4年12月27日から令和5年3月28日まででございます。予算額は6,428万1,000円、設計額は5,930万3,200円でございます。

本工事は、昨年度に橋梁点検を実施したもののうち東名阪自動車道を跨ぐ大山田第4号橋において、橋梁表面のコンクリートの剥離を確認し、第三者被害の防止及び橋梁長寿命化を目的とした予防保全型管理の一環とした修繕工事を実施するものです。

主な工事内容は、橋梁表面が剥離した箇所の断面修復、ひび割れ補修及び剥落防止、構造物の耐久性を向上させるための表面含浸工などを実施するものです。

概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について、ご説明いたします。

資料の16ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の許可業者であること、所在地は、県内業者までとし、経審点数は市内業者650点以上、準市内業者750点以上、県内業者850点以上とし、発注業種の

完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績は、平成19年度以降、官公庁が発注した案件で、橋梁耐震工事又は橋梁修繕工事の施工実績を有することとしています。技術者要件としては、現場代理人及び主任技術者の専任配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、17ページをご覧ください。

令和4年12月14日に開札を行いましたところ、2者から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で、2者が同額入札のため、くじ引きにより株式会社富洋組を落札候補とし、その後、入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き4,897万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員長】

一度入札を行い不落となり、再度入札を実施した案件ですが、一回目が不落となった原因がわかれば教えてください。

【事務局】

一回目の入札は11月9日に開札を行い、1者から応札はありましたが、事後審査で失格となりました。時期的なものもあると思います。また、技術者の配置が困難なため、応札を見合わせたのではないかとも思われます。

【委員長】

二回目の入札では、一回目に応札した業者も参加していますか。

【事務局】

はい。

【副委員長】

長寿命化修繕という様々なケースがあると思いますが、調査業務を実施して、それに対して工事発注を行っているということですか。

【土木課】

昨年度に5年に一度の点検を行い、その際に橋梁表面のコンクリートが剥がれている箇所がありましたので、高速道路上の橋梁ということもありネクスコ中日本と協議しながら施工時期について調整し、今回、修繕工事を行っているものです。

【委員長】

今回の抽出にあたりまして、リストの中で不落や不調が散見されまして、いろいろな原因があるとは思いますが、技術者要件を満たさないなどの業者の事情もあろうかとは思いますが、発注時期の問題、季節的なものがあるときに、発注時期が重なると応札しにくいと思いますし、そのあたり桑名市としても調査されているとは思いますが、何か工夫できるものがあればと感じています。

他にご質問、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろし

いでしょうか。

それでは問題なしとします。

抽出事案 4 福地地内水路修繕工事

【委員長】

それでは、次に第4案件「福地地内水路修繕工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

引き続き、土木課から工事概要について説明いたします。

資料の18ページをご覧ください。

件名は、福地地内水路修繕工事、履行場所は、桑名市大字福地地内、位置図は19ページになります。位置図が広域的なものではございませんのでわかりづらいのですが、市内の最南端付近の湾岸自動車道桑名インターチェンジの北西に位置します用排水路でございます。履行期間は、令和4年12月13日から令和5年3月2日まで、予算額770万円、設計額418万2,200円でございます。

工事概要といたしましては、現況の用排水路は、素掘り水路でありまして、地形的に勾配がかなり緩やかで水質が悪化していることから、コンクリート製の排水路整備を行うものでございます。

コンクリート製の排水路の延長81m、水路の両脇に張コンクリートを打設する内容の工事でございます。

説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。資料の22ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、土木工事業の許可業者であること、所在地は、市内業者までとし、経審点数は、729点以下、ただし、一般許可業者に限り730点以上の業者も参加可能とし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績は、平成19年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有することとしています。技術者要件としては、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、23ページをご覧ください。

令和4年11月30日に開札を行いましたところ、2者から応札があり、うち1者は直前の入札で落札候補となり、その業者から提出されていた「落札可能件数届出書」に記された落札可能件数に達したため、無効としました。

開札の結果、残る1者である株式会社新建が最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内であっ

たため落札候補者に決定し、入札参加資格を審査した結果、適格であったため当該業者を落札者と決定し、税抜き 380 万 2,000 円で契約を締結しました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員長】

結果的に 1 者となったためかもしれませんが、落札率が 100%というのはあまり見かけません。これについて何かお考えがあればお聞かせください。

【事務局】

2 者から応札がありましたが、そのうちの 1 者につきましては、直前に開札をしました入札の落札候補者となり、同日の落札可能件数に達しましたので、無効としました。その直前の入札における落札率は約 89%であり、落札可能件数に達していなければ、この入札においても競争できていたものと思われます。

【委員長】

この工事において応札者が少なかった理由をお聞かせください。

【土木課】

通常の土木工事、側溝工事や水路工事というのは道路に隣接している場所での施工なのですが、この工事の施工場所は、住宅と田んぼに隣接しており、田んぼを一時的に借りたり、人力で資材等を運んだりと通常の工事よりも手間がかかる現場であるということもあり、応札者が少なかったのかなと思います。

【副委員長】

落札可能件数というのはどのようなものですか。

【事務局】

同日に複数の入札を執行する場合は、高額な案件から開札を行います。業者によって技術者の配置や受注状況も異なりますことから、同日に複数の入札に参加し、受注可能件数よりも多くの入札に参加している場合は、事前に落札可能件数届出書を提出していただき、可能件数に達した場合は、以後の入札を無効とするものです。

【副委員長】

業者から、この件数に達したら以後は無効としてくださいという届出を提出してもらうということですか。それは同日に限るのですか。

【事務局】

そのとおりです。

【委員長】

同日に行われる入札において、業者が希望する工事を落札したいということはできますか。

【事務局】

特定の案件を指定するというのは困難なので、高額な案件から開札を行います。高額な案件の方が業者の利益につながるのかなと思います。

【委員長】

同日に5件あった場合は、高額な案件から開札を行い、少額の案件を無効にするということですか。

業者にとって有利と思われる方法をとっているということですね。

【委員長】

他にご質問、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

それでは問題なしとします。

抽出事案 5 奥赤沢川河川改良工事

【委員長】

それでは次に第5案件「奥赤沢川河川改良工事」について発注担当課から工事概要と随意契約理由の説明をしていただき、その後事務局から見積経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

件名は、奥赤沢川河川改良工事でございます。

履行場所は、桑名市多度町戸津地内、位置図は26ページになります。施工場所は、養老鉄道の多度駅の南東に位置します奥赤沢川という河川でございます。履行期間は、令和4年12月15日から令和5年3月20日までとなっております。予算額は、税込900万円、設計額は、税込856万200円です。

工事概要は、この河川においては、豪雨の際に雨水があふれた経緯がございます。現況で河積不足となっている区間について、L型の水路擁壁に改良することで必要な河川断面を確保し、治水上の安全性を確保するものでございます。

工事内容は、L型水路工の延長30mを施工し、安全対策の転落防止柵を設置します。あわせて道路部分の舗装復旧を実施する内容でございます。河川の改良工事を行う区間は、今回が最終区間となります。

次に契約方法ですが、随意契約にて発注しています。資料25ページの随意契約理由書をご覧ください。

契約の相手方は、有限会社松田住建でございます。

随意契約の理由につきましては、当初一般競争入札で発注していましたが、令和4年11月2日の開札において、応札者がなかったことから、入札不調となりました。

そこで、河川改良工事であるため施工時期が非出水期に限られることと、河道側壁にはL型のプレキャスト2次製品を採用しており受注生産品であるため納期に時間を要することから発注時期が限定されます。このように施工期間が限られる中、次の出水期までに工事を完成させたいことから、今年度中の完成に向けまして、現場に精通している地元業者のうち早期着工が可能な有限会社松田住建と随意契約を締結したものであります。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の 31 ページをご覧ください。

令和 4 年 12 月 9 日に見積合わせを行い、指名業者の有限会社松田住建から見積を徴したところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜き 750 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【山下委員】

随意契約の理由のところで、地元業者で早期着工が可能とありますが、他にも業者はあると思いますが、複数の業者から見積を徴するということは検討しなかったのですか。

【土木課】

今回の契約の相手方である有限会社松田住建に至るまでには、以前にそこを施工した業者だけでなくその他の業者にも聞き取りを行いました。技術者が配置できるかどうかというのが一番の原因ではないかと考えておりまして、もし技術者に余裕があれば、再度発注をした場合に受注できるか聞き取りをしましたが、この現場への技術者の配置は困難であるとの返事が多くあり、先ほども説明させていただいたとおり、今年度中の完成をさせたいという思いもありましたので、そういう中でたどり着いたのが今回の相手方である有限会社松田住建でしたので、随意契約で発注しました。

【委員長】

最初の段階で入札不調になり、急ぐ案件であるということで随意契約での発注ということですが、このような案件は見受けられるのでしょうか。

【土木課】

今年度は入札不調となった案件が多くありまして、この案件と同時期に土木課が発注した案件におきまして、10 件中 4 件が不調となっています。

秋口になりますと、桑名市の発注や三重県の発注も多くなりますので、このような事象が発生することがあります。

【委員長】

技術者云々というのは業者側のことではありますが、市として、入札参加者を増やすために、技術者を増やせるような取組ができないものかと思いました。その点についてはどうでしょうか。

【事務局】

直接的な技術者の養成は困難ですが、地元業者の育成という意味では、工事の発注を増やしていくというようなことが考えられます。

【委員長】

いろいろな方法が考えられますが、できることできないことがあると思いますので、今のままでいいと思わないようなことが必要ではないかと思います。

他にご質問、ご意見等ございませんか。

ないようでしたら、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

それでは問題なしとします。

以上を持ちまして、抽出案件の審議を終了いたします。

次回の審議案件の抽出は、順番により藤田副委員長が抽出いたします。

(3) その他

【委員長】

それでは(3)「その他」ですが、委員の皆様何かございますか。

【委員長】

今回の抽出にあたりまして、リストを見ていて、入札不調件数が多いというのとくじ引きによる落札者の決定が多いという印象です。

くじ引きの中で、工事において、事後審査型一般競争入札 65 件中 34 件が最低制限価格でくじ引きということになっています。コンサルでも同様に、最低制限価格でのくじ引きが多く見受けられました。それは予定価格を事前に公表しているから、積算ソフトを用いれば、最低制限価格を容易に算出することができます。

単に抽選ということになり、これは競争といえるのでしょうか。

談合はないけれども、競争といえるのかどうなのかなと思います。

もちろん、談合防止の観点からは予定価格の事前公表は効果的かもしれませんが、職員に対するアプローチや情報漏洩という問題があるからという理由はわかります。

そこで、違う視点から見ると、予定価格を公表せずに、国は公表していないのですが、そのようにして、少し厳しい言い方かもしれませんが、本来、職員のモラルを徹底することによって、防止しなければならないものではないかと思います。

あるいは、くじ引きでも、入札参加資格要件に社会貢献度や緊急時の対応などのポイントを付与することによって、それらの項目により抽選時の確率が上がるとういようなことができないものかなと思います。

そのようなことができれば、任意のポイントにより落札確率が上がるとなると、業者としては社会貢献に積極的に取り組もうと思うのではないのでしょうか。

これもあくまでも個人的な考えでありまして、桑名市において、様々な意見を聞いて、何かいいアイデア生まれれば、他の自治体が行っているからというのではなく、桑名独自の方式でもいいのではと思います。

【山下委員】

先ほど委員長から、社会貢献度に応じて加点の話がありましたが、桑名市は不当要求事案が発生したときに、市長が記者会見をしまして、不当要求に係る講習を受講した業者については加点するというような話をされていたと思います。

三重県は、今年から加点をするということを公表していますが、桑名市ではどうなっていますか。

【事務局】

工事検査につきましては、三重県の建設工事成績採点要領に準拠して今年度から工事成績調

書を改正して評価させてもらっていますので、三重県で加点されるような点数のポイントについては、桑名市においても同じように加点されるようになっています。

不当要求につきましては、特記仕様書等において、不当要求を受けた場合の措置や各種利害関係者団体による調整について明記していますので、桑名市独自ではないのですけれども、三重県に準じているということで、同じような対応ができるようにしています。

【山下委員】

同じような対応とはどのようなことですか。

【事務局】

三重県と同じ工事成績評定を用いていますので、三重県で加点されるような項目であれば、桑名市の同じような工事でも加点されます。

【委員長】

何かぜひ考えていただければと思います。

事務局から何かありますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

ありがとうございました。それでは令和4年度第3回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は後日、事務局でまとめていただきたいと思います。本日はありがとうございました。